

ISEWAN REPORT

第101期 中間報告書

2023年4月1日から2023年9月30日まで



TOP MESSAGE

トップメッセージ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限が緩和されたことや雇用・所得環境の改善により、景気は緩やかに回復へ向かいました。しかし、中国経済の先行き懸念や物価上昇、世界的な金融引き締めの影響など、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクがあり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く物流業界におきましても、海外景気動向により輸出が減少する懸念や円安の進行為輸入を減少させる懸念も存在しており、先行きの不透明感が続いております。

このような不安定な状況下にあります。新たな経営理念のもと、DXの推進や新規設備投資などの新しいことへの挑戦と、従業員一人ひとりが最大限の力を発揮できるよう働く環境や教育環境づくりに力を入れ、サステナブルな企業となれるよう取り組んでゆく所存でございます。

株主の皆様におかれましては、従来に増してご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 高見 昌伸



経営理念

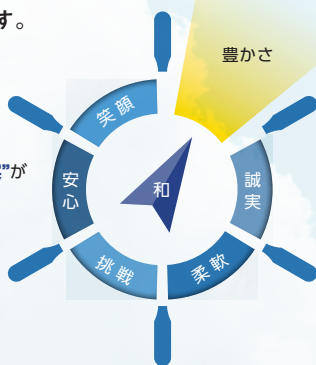
MISSION

ミッション
私たちの使命

和を追求し、笑顔ある豊かな社会の実現に貢献します。

和から始まる広がり

心が和むと笑顔を生む。心の和みが安心を生む。
その安心できる環境が挑戦を生む。調和が柔軟さを生む。
お互いを大切にし、協力し合う関係の和が誠実さを生む。
和によって生まれる、“笑顔”、“安心”、“挑戦”、“柔軟”、“誠実”が
人の心や社会発展の豊かさに繋がっていくと確信します。



VISION

ビジョン
私たちの目指す姿

多様な個性や価値観を尊重し、
みんなが力を存分に発揮できる
明るく活力のある企業風土を確立します。
そこから生まれる誇りあるサービスを提供し、すべての人に安心と信頼を届け、
社会とともに希望ある未来を目指します。

VALUE

バリュー
私たちの大切にしている価値観

- 笑顔溢れる活気のある企業へ
- 安心でき、やりがいを感じることができる企業へ
- 本質を見極めた挑戦
- 挑戦を応援できる環境
- 互いの意見を尊重し、受け入れる柔軟な職場へ
- 社会の移り変わりへの柔軟な対応
- 誠実な対応
- 誠実で誇りある仕事

Pick up – 伊勢湾海運70年のあゆみ Vol.1 – 昭和24～昭和40年代

昭和20年 昭和30年 昭和40年 昭和50年 昭和60年 平成元年 平成10年 平成20年 平成30年 令和元年

- **昭和24年 1月** 資本金百万円にて会社設立
- **3月** 税関貨物取扱人の免許を受ける
- **4月** 営業開始
- **昭和26年 9月** 港湾運送事業法施行により
一般港湾運送・船内荷役・はしけ運送・沿岸荷役事業を登録
- **昭和30年 5月** 倉庫証券発行の許可を受ける
- **昭和31年 3月** 東名港現業所を開設（現 東名港事業所）
- **昭和32年 2月** 東京事務所を開設（現 東京支店）
- **昭和33年 7月** 穀物商品取引所の指定倉庫となる
- **昭和37年 3月** 倉庫業の許可を受ける
- **9月** 名古屋証券取引所市場第2部（現：メイン市場）に上場
- **12月** 一般港湾運送・船内荷役・はしけ運送・沿岸荷役事業の免許を受ける
小型船運送取扱業を登録
- **昭和38年 7月** 東海製鉄事業所を開設（現 東海事業所）
- **昭和42年 9月** 北陸事務所を開設（現 富山支店）
- **10月** 信越事務所を開設（現 信越支店）
- **昭和44年 5月** 自動車運送取扱・自動車運送代弁・自動車運送利用業を登録
- **昭和45年 5月** 名古屋税関より通関業の許可を受ける
- **昭和47年12月** 大阪税関より通関業の許可を受ける（富山支店）



本社社屋



東名港現業所（現 東名港事業所）



北陸事務所（現 富山支店）



東海製鉄事業所（現 東海事業所）



現 信越支店

昭和24～昭和40年代を振り返って

当社の前身である「名古屋港運株式会社」は太平洋戦争下、政府方針により名古屋港の舁業者及び港運業者等を統合し、戦時統制会社として設立されました。

戦後GHQ施策下において、戦時統制会社は規制または閉鎖の指定を受けることになり、名古屋港運も閉鎖機関に指定されました。

しかしながら、閉鎖機関に指定されるや、当社初代社長である河口百合彦氏、二代目社長の稲葉誠太郎氏らが中心となり、伊勢湾海運株式会社を設立いたしました。

当時の名古屋港は現在のガーデン埠頭一帯の中央埠頭・堀川・中川運河での作業が中心であり、当社の事業主体は舁運送でありましたが石炭等の原材料の輸入好調の波に乗り、発展の軌道に乗りました。昭和30年代に入ると南部臨海工業地帯の開発や、稲永埠頭の整備が進められ名古屋港はさらに拡大。高度経済成長の流れに乗り、当社の業績は順調に推移し、37年には名古屋証券取引所第2部に上場いたしました。

昭和40年代に入ると、船舶の大型化・専用船化が進み、コンテナリゼーションの進展に伴う海陸一貫輸送のメリットを高め、事業範囲を中部圏一円に拡大いたしました。

このような生い立ちにて当社は成長してまいりました。

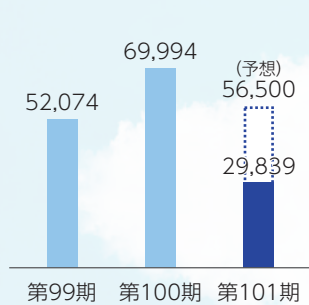
Vol.2では海外展開に力を入れた昭和50年代以降をご紹介します。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

業績ハイライト

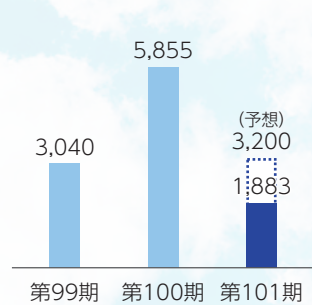
売上高

(単位：百万円)



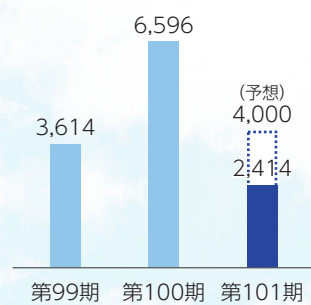
営業利益

(単位：百万円)



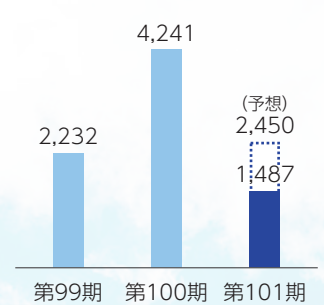
経常利益

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する四半期純利益

(単位：百万円)



会社情報

会社名

伊勢湾海運株式会社
(ISEWAN TERMINAL SERVICE CO., LTD.)

本社所在地

愛知県名古屋市中区入船一丁目7番40号

設立

1949年1月22日

資本金

2,046百万円

事業内容

港湾運送、倉庫、貨物利用運送、海上運送、陸上運送、通関、航空運送代理店、梱包、一般廃棄物及び産業廃棄物の運送並びに再生処理、鉄鋼・非鉄金属及びこれらの原材料並びに製品・鉱産物の購入及び運搬並びに販売、土木・建築工事、労働者派遣、各種代理業

ホームページのご案内



コーポレートサイトトップ

<https://www.isewan.co.jp/>

企業情報

IR情報

株式関連情報



株主メモ

事業年度

4月1日～翌年3月31日

期末配当金受領株主確定日

3月31日

中間配当金受領株主確定日

9月30日

定時株主総会

毎年6月

株主名簿管理人

三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

同連絡先

東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所

名古屋証券取引所

公告の方法

電子公告により行う。
公告掲載URL <https://www.isewan.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、中日新聞に公告いたします。)